

ふわり

発行日 2024. 1. 15



通算第67号

発行者 特定非営利活動法人 わたげ
〒197-0814 あきる野市二宮1051-2
電話 042-558-5303 FAX 042-505-9022
HP <http://www.watage.org>
メール watage@watage.org
バックアップ施設: 社会福祉法人 それいゆ 花の里

寄付専用郵便振替口座
加入者名特定非営利活動法人わたげ
00110-9-280917



わたげクレド (心にとめておきたいこと)

あなたの生きるは、私の生きると同じです
自分がして欲しいと思う支援をします

ひとりひとりに合った支援を行なっていますか？
何ごとにも自ら考えて支援に当たっていますか？
ほかのやり方ってないの？

2021. 4作成

新しい年を迎えて

★年賀状はこのふわり冬号をもってかえさせていただきます

2024年になりました。元日に能登半島地震が起き、2日は羽田の日航機炎上と、お正月気分はふっ飛びました。はてさて今年はどうなるのでしょうか？ 相変わらず、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザ攻撃は続いています。犠牲になる市民、子どもたち、がれきとなった建物の映像に胸を痛める毎日です。

自然災害は防げないけど、せめて戦争は防ぎたい。人間がおこしたことならばやめることもできるはず。でも本当に難しいのですね、戦争をやめさせるため(?)に、かえって武器・核兵器が増えていくなんて…。だからこそ、始めたらダメ、その前に最大の努力をするしかありません。「戦争」の準備をしないことです。

「茶色の朝」という絵本をご存知ですか？ 最初、「それくらいならいいか」と許している内に気がついたら茶色一色の世の中になっていた、自由に物が言えない社会になっていたというお話です。

『昭和史 戦後篇』を書かれた半藤一利さんは「戦争の原因は『国民的熱狂』」と言ってます。

みんな違っていい、障がいがあってもなくてもそのまま、ありのままがいい。違いを認め合う「寛容さ」、自分で決めていい「自由」、何でも言える「自由」。そんなことを大事にしたいです。

理事長 土屋文子



大國霊神社

わたぼうし



元日の初詣まゆ
永山公園の金刀比羅宮
すいてました！



職員自己紹介

学びの場を作りたい

ほのか 吉田 真人



ほのかの吉田真人（よしだまさと）です。入社してそろそろ3年、前職は放課後等デイの支援員、その前は小学校の教員をしていました。わたげにお世話になるきっかけは、ライフワークである「生涯学習の推進」と「子どものあそび場づくり」の時間を確保するためでした。

「生涯学習」と言われてもピンとこない方がほとんどだと思いますが、簡単に言えば「学んで楽しくよりよく生きようよ」ってことです。学ぶことは本来喜びであり、教育ではなく学びを大切にしたいのです。

そのために社会の様々な所で学びの場をつくるお手伝いをしています。また月1回あきる野の川原でプレーパークのお手伝いもしています。今は月1回程度ですが、いつか常設のプレーパークができたらいいなと考えてい

ます。子どもにとってのあそびの価値はおとなが思うよりも大きなものです。そして、おとなももっともっとあそぶべきと私は思います。よりよく生きるために、大いにあそび大いにまなびましょう。自分の人生を楽しみ、同じように相手の人生を尊重する。そういう世の中をつくらせていきたいと思っています。人生にはあそびとまなびが必要です。

ところで最近の私の野望は「地域で、誰かとつながりたい人、学びたい人、弱っている人などがいつでもぶらっと立ち寄って、出会い集い学びありのままで居られる場所（ぶらっとホーム）」をつくりたいということです。だれか一緒につくりたい人いませんか？



移動支援のご希望に応えられず・

わたげは「移動支援事業ふわり」を行っています。縮小傾向にせざるを得ません。というのも、小規模では事業が成り立たないという問題があるからです。サービス提供責任者は常勤専従でなければなりません。つまり正規職員の一人分の給与を確保し、さらにヘルパーさん（時給）に対価を払わねばなりません。そして、事務所を構えていなければなりませんので、その経費がかかります。移動支援は、「地域支援事業」という市町村事業ですが、とにかくこの報酬では「赤字間違いなし」なのです。ヘルパーさんに賃金を支払ったらほとんど残りません。

介護保険の訪問介護（ヘルパー派遣）事業所も倒産が年間60件に達し（昨年12月）、過去最多の勢いといわれています。

倒産の原因は人材不足にもあります。わたげでも土日集中する希望に対応できるだけの人材を確保できません。今後はますます若い働き手がいなくなります。

一人親家庭で重度の自閉症の幼児（多動でこだわりが強く、物壊しがあって、言葉は通じない、不眠・・・）を育てているお母さんからの悲痛的な思い、「自分が高熱が出てものすごく具合悪くても病院へ行くことも、布団で横になることもできないのです。ヘルパーも来てくれない、なら1時間でもいいからこの子を外に連れ出して見てくれるところがあれば・・・」と。それを聞いてあげられないのは本当に辛いです。

今まで赤字承知で事業をして来ましたが、この物価高と人材不足ではいつまで持つか、撤退する日も近いのかな・・・と案ずる今日この頃です。

保護者の皆さん、ぜひ、国、都、市町村へ声を上げて下さい！！「移動支援」をする事業者が少ない、受けられなくて困っている、と。



羽村産業祭で





10月～12月の研修



全体研修 (職員会議の中で)

●10月23日

「虐待防止チェックリストの項目」について
問いかけの一つ一つについてグループワークで
考えました。

【感想】

虐待防止に絶対的な正解などないと、改めて
思いました。いくら完璧なチェックリストを作
ったとて、それで虐待が防げるとも思いません。
ただ、このようなテーマで仲間と言葉を交
わすことで、意識が高まり、多様な考え方(新
しい見方)に触れ、お互いの信頼関係を築くこ
とが大切なのだと思います。

できるならば、全員で一緒に行きたいもの
です。パートタイマーだから考えなくても良い
わけではないと思うので。

今回も大変よい時間が過ごせました。



11月19日 都民の森



12月25日の職員会議では「虐待防止法の概要につ
いて関根直人弁護士の講習動画を見ました。それでク
レド見直し時間が短くなってしまいました。

●11月27日「クレドを見直す？」(1)

グループワークで現在のクレドの
「あなたの生きるは私の生きると同じです」
「何ごとにも自ら考えて支援に当たっています
か？」を考察。いい点(プラス)、マイナスな点は？

【感想】

- ★考える内容が少し難しかったです。
- ★クレドは、とても重要なものだと思っていま
す。また、支援の中心になるものであり、大き
く見れば、会社や社会に対しても適応できるも
のが良いと思います。
- ★ゴロや音も大切だとありましたが、まったく私
も同意見で、口ずさめる覚えやすいことも選択
の一つだと感じました。時間をかけてでも、長
く大事にされていくものを作りたいと思います。
- ★クレドは、あった方が良い。ただ、今のクレド
は、言いづらく作った人達の気持ちが見えづら
い。見えづらいのが残念。
- ★今のクレドよりもう一步踏み込んだ、と言うか
具体的に伝わりやすいものに変えた方が、職員
はもちろんご家族の方に伝わるのではないかと
思いました。利用者さん目線で考えた内容が私
的には、良いかと思っております。

継続・2名 見直し・10名 どちらでもない・1名

●12月25日「クレド見直し」(2)

クレドを見直すことにしたのですが、今回時間が
なくて個人ワークに。一人一人がいいと思うキー
ワードをたくさん書き出しました。

外部研修

11月7日

グループホーム管理者研修 (ZOOM)

講師：社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会
荒木 一彦 氏

【感想】

運営するにあたり色々な事が必要になるが「スタッ
フ間でのコミュニケーション」が一番重要との事だっ
た。まゆ、ひいてはわたげとしても職員同士の相性で
あったり、環境や立場の違い、ジェネレーションギャ
ップ、といった事でギスギスするのではなくチームプ
レイとしてお互いに尊重し、欠点を補って協力する
という事を全員が意識できるようになれば、より良い運
営を行うことが出来るようになると思う。そういう研
修を全体研修で行えば良いのではないかと思った。

(まゆ管理者 主任安田)



まゆクリスマス会



わたぼうしの大晦日、
年越しそばならぬ年越
しラーメンを食べて歳
末大売り出しに行く



利用者ご家族満足度アンケート実施中 (1月16日～2月12日)

年1回、恒例のアンケート調
査です。ぜひご協力下さい。
紙アンケートがよい方は職員
にお申し出下さい。

ここから↓



避難訓練

わたぼうし3 11月29日 18:00～2階居室のコンセント付近からの出火想定で、消火・通報・避難の訓練をした。職員2名，利用者6名参加。
事前に訓練通告したがなしでもやってみたい。

わたぼうし 11月27日 午後19時半頃、2F事務所で火災発生、利用者8(+見学1) 職員3名参加。玄関を利用せずに逃げる、避難完了まで約4分45秒。暗くて歩けない、集合場所の(わたぼうし3)を知らない利用者がある、など新たな発見あった。

まゆ 11月27日 20:00地震発生時の避難誘導シミュレーション (職員3名参加)

ありがとうございます！

賛助会費 (1口 2000円)

比留間紀夏様 (7月10日)
(ご紹介が遅れ、大変申し訳ございませんでした)

(2023年10月7日～2024年1月7日)

ほのか・ふわりの1階
あきる野市でフードパントリーと子ども食堂を行っている「みんなの居場所はぐ」に荷物置き場として一角をお貸しています。



ご寄付

匿名様 5000円 匿名様 10万円
匿名様 10万円 前畑圭子様 合計15000円
嶋崎謙介様 50万円
卵 桂ファーム(入間)様
布団・寝具 武田様 小泉様 緑川様



法人の財政状況

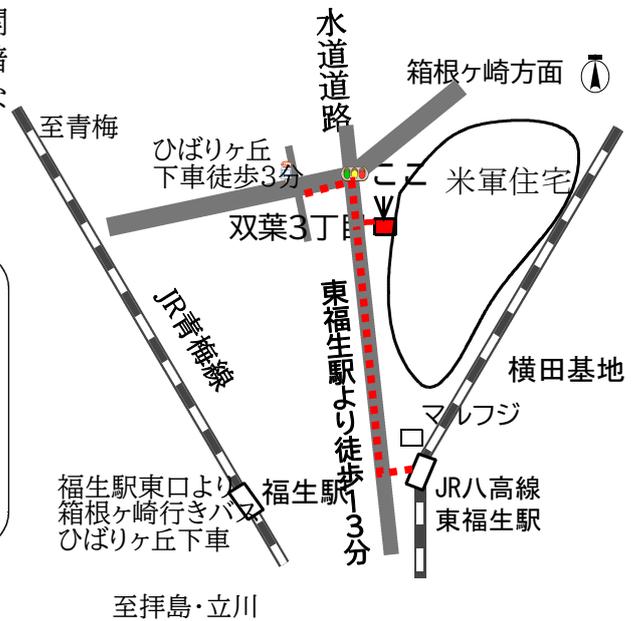
2023年度(2023年4月1日～2023年10月31日)	
介護給付費・利用料収入	79,452,250
寄付金収入	855,000
補助金収入	185,600
その他収入	1,163,510
人件費	59,856,419
事業経費	3,910,817
事業所管理運営経費	2,088,259
施設設備費	1,829,524
管理費	2,552,169
経常増減額	11,818,172
減価償却費	
支払利息	18,736
当期正味財産増減額	11,799,436
2023年10月31日現在	
現預金	15,045,061
その他流動資産	38,629,328
固定資産	227,118,184
流動負債	11,229,273
退職給付引当金	6,959,950
長期借入金	39,347,282
正味財産	208,211,157

わたげの事業

グループホーム:まゆ、わたぼうし1・2・3
短期入所:ほのか1・2
居宅介護(移動支援、行動援護):ふわり

グループホームまゆ

羽村市双葉町3-3-16



グループホームわたぼうし第3
平沢322-5

